



あなたと地域を結ぶミニコミ誌 2026 秋号 No.163

芳水小学校に 新しい校長先生が着任されました！



川原 和茂 校長先生

第21代校長 2026年4月着任

前任校 目黒区立不動小学校

interview

- ◆先生になったきっかけ
父親が中学校教員で、その姿に憧れて教員を目指しました。
- ◆芳水小のみんなとやりたいことは？
子どもたちが笑顔になり、元気いっぱい
に本気で取り組めることを一緒に考えて
実践したいです。

芳水小学校DATA ～創立108年～

全校児童：728名

学級数：25学級

開校年月日：

大正7年12月2日

(令和8年4月1日時点)



入学式、運動会ともに
晴天の中行われました

取材：「ほうすい」1学期号担当 編集：川満

～大崎駅周辺 歴史と紅葉のノスタルジック散歩～

駅周辺は高層ビルが立ち並ぶ大崎ですが、一步路地へ入り、かつての街道や川沿いに目を向けると、そこにはまだまだ豊かな自然と、江戸・大正の面影を残す歴史スポットが息づいています。

今回は、心地よい秋風を感じながら、サクラからイチョウへと移りゆく紅葉の色彩と、街の記憶を伝える「銘道標」（めいどうひょう）を巡る散歩コースをご案内します。

カメラを片手に、のんびり歩いてみませんか？

まずはひふみ公園から、秋の彩りを探してみましょう。

春には美しい花を咲かせるサクラの木々ですが、秋の紅葉も見ごたえがあります。派手さはありませんが、どこか哀愁を帯びたサクラの紅葉は、秋の訪れを感じさせてくれます。ベンチに腰掛けると、頭上に広がる優しい秋の色彩を見ることができるでしょう。

ひふみ公園をあとにしたら、大崎駅の反対側、目黒川へ。

春の桜並木で有名な目黒川ですが、秋の風情もまた格別です。川沿いの歩道を覆うようにサクラの葉が赤く染まり、美しい並木道をつくります。散り始めた葉が水面をゆっくりと流れていく様子を見ながら、心地よい秋の並木道をのんびりと散策してみるのはいかがでしょうか。

ここからは、大崎・西品川周辺の歴史の深さに触れる「銘道標」巡りへと向かいます。スマホのマップがなかった時代、人々が何を頼りに旅をしていたのか、その痕跡を辿ってみましょう。

目黒川の散策を終えたら、大崎駅新西口のペDESTリアンデッキを抜けて百反通りへ向かいます。

住宅地を進むと、三木小学校近くの交差点の片隅に静かに佇む石碑があります。これが「大正六年銘道標」です。品川区内にある最も新しい石造の道標で、文字はカタカナで刻まれています。



『マエ オホ中道』



『マエ ヘビクボ道』

カタカナの道標がある場所から三木小学校を通り過ぎて歩いて行くと、地域で古くから信仰を集める貴船神社の一角に、さらに時代を遡る「文政十一年銘道標」があります。

もとは居木橋村と品川宿の枝郷三ツ木との境界に建てられた道標が移設・保存されたもので、正面に「西めくろ（目黒）」、左右に「左 北品川」「右 南品川」と刻まれています。



そして、この境内で目を引くのが見事なイチヨウの木です。秋が深まってくると、この大木が鮮やかな黄金色に染まり、歴史の重みと自然の美しさの両方が味わえる場所となっています。

散歩の締めくくりに、大崎で古くから親しまれている「居木（いるぎ）神社」へ向かいます。厄除けや縁結びのパワースポットとしても有名ですが、秋の境内は息をのむほどの美しさに包まれます。境内にそびえる大きなイチヨウの木々が一斉に黄葉し、やがて風に舞って地面へと落ちると、まるで鮮やかな「イチヨウの絨毯」が広がっているかのよう。視界が黄金色に染まる空間は、まさに都会のオアシスのようです。

居木神社の参拝を終え、5分ほど歩くと高層ビル群と「大崎駅」が見えてきます。さっきまで江戸や大正の時代にタイムスリップしていたかのような感覚から、一気に現代へと引き戻されるこのギャップもまた、大崎散歩の醍醐味です。

今回の散歩ルート



駅周辺にはカフェやベンチも多いため、散歩のあとはのんびり休憩しながら、巡った景色を振り返ってみてはいかがでしょうか。

参考資料：品川区ホームページ『大崎地区の指定文化財』
<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/sangyo/sangyo-bunkazai/sangyo-bunkazai-shitebunkazai/oosaki/index.html>

取材／編集：須沢

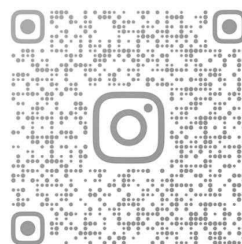
子どもが安心する地域の居場所「こども食堂」

子ども食堂って、どんなところ？

子ども食堂とは、子どもたちが一人で食事をする「孤食」を避け、あたたかくて栄養のある食事をみんなで楽しく食べられるようにと始まった、地域密着型のコミュニティ活動です。

2026年8月現在、品川区内には39ヶ所の子ども食堂があります。

今回は、品川区豊町で子ども食堂を営んでいる「子ども食堂灯台」の木下さんにお話を伺いました。



@KODOMOSHOKUDO_TODAI

子ども食堂灯台インスタグラム

1. 「子ども食堂灯台」が大事にしていることは？

子ども食堂は、単に「お腹を満たす場所」だけではありません。家でも学校でもない、子どもたちが安心して過ごせる**「第3の居場所」**です。

新しいつながりが生まれる場所

おいしいご飯を囲むことで自然と会話が生まれ、大人と子ども、あるいは子ども同士の新しいコミュニティが広がっています。

栄養満点のメニュー

育ち盛りの子どものために、栄養バランスを考えたメニューが提供されています。

2. 「子ども食堂灯台」の運営と温かい支援の輪

豊町の「子ども食堂灯台」は、地域のさまざまな支援に支えられながら運営されています。

営業とお申し込みについて

開催日： 月末の土曜日

時間枠： 17:10～ / 18:10～ / 18:50～

(各回12人の完全予約制)

運営を支える支援・寄付のネットワーク

支援元	支援・寄付の内容
しながわ子ども食堂ネットワーク	月7,000円の運営支援、野菜やお菓子の提供
一般社団法人 miraie	朝ごはん用のランチパック、野菜ジュース、お菓子、ドライフルーツ、チョコレート
城南信用金庫	新米30キロの寄付（お米高騰時、うどんやパスタが続いていたため大変重宝したそうです）

今後の展望

一般社団法人 miraie の寄付を活用し、今後は「おにぎりとお味噌汁」といった朝食の提供も検討しているそうです。

3. 子ども食堂を始めるには？

「資格やノウハウがないと難しいのでは？」と思われるかもしれませんが、講習を受ければ誰でも始めることができます。

開設にあたっての第一歩は保健所への登録（審査）です。主に以下のような衛生・設備基準がチェックされます。

- 普段生活で使っているキッチンはNG（専用の調理スペースが必要）
- コンロが2口以上あること
- キッチンとトイレが別のスペースに隔離されていること

これらの審査をクリアすれば、福祉センター、教会、公民館など身近な施設で開催することが可能です。

まずは、保健所へお問い合わせください。

最後に：地域の絆を育む「あたたかな食卓」へ

共働き世帯の増加や「孤食」が課題となる現代において、子ども食堂は子どもたちに「ひとりじゃないよ」「ここで待っているよ」というメッセージを届ける大切な役割を担っています。困ったときに頼れる大人が近くにいる環境は、未来を担う子どもたちの成長に欠かせません。

子ども食堂は、お腹をすかせたお子さんはもちろん、親御さんや地域の人々など、世代を超えて誰でも気軽に集まれる交流の拠点です。

その多くは、地域の有志やボランティアの手によって運営されています。

- 「食事を作ってみたい」
- 「子どもたちの笑顔が見たい」
- 「自分も地域の役に立ちたい」

そう感じた方は、ぜひお近くの子ども食堂を訪ねてみてください。あなたも、地域の絆を育むあたたかな食卓に参加してみませんか？



「寄付いただいた野菜の写真」

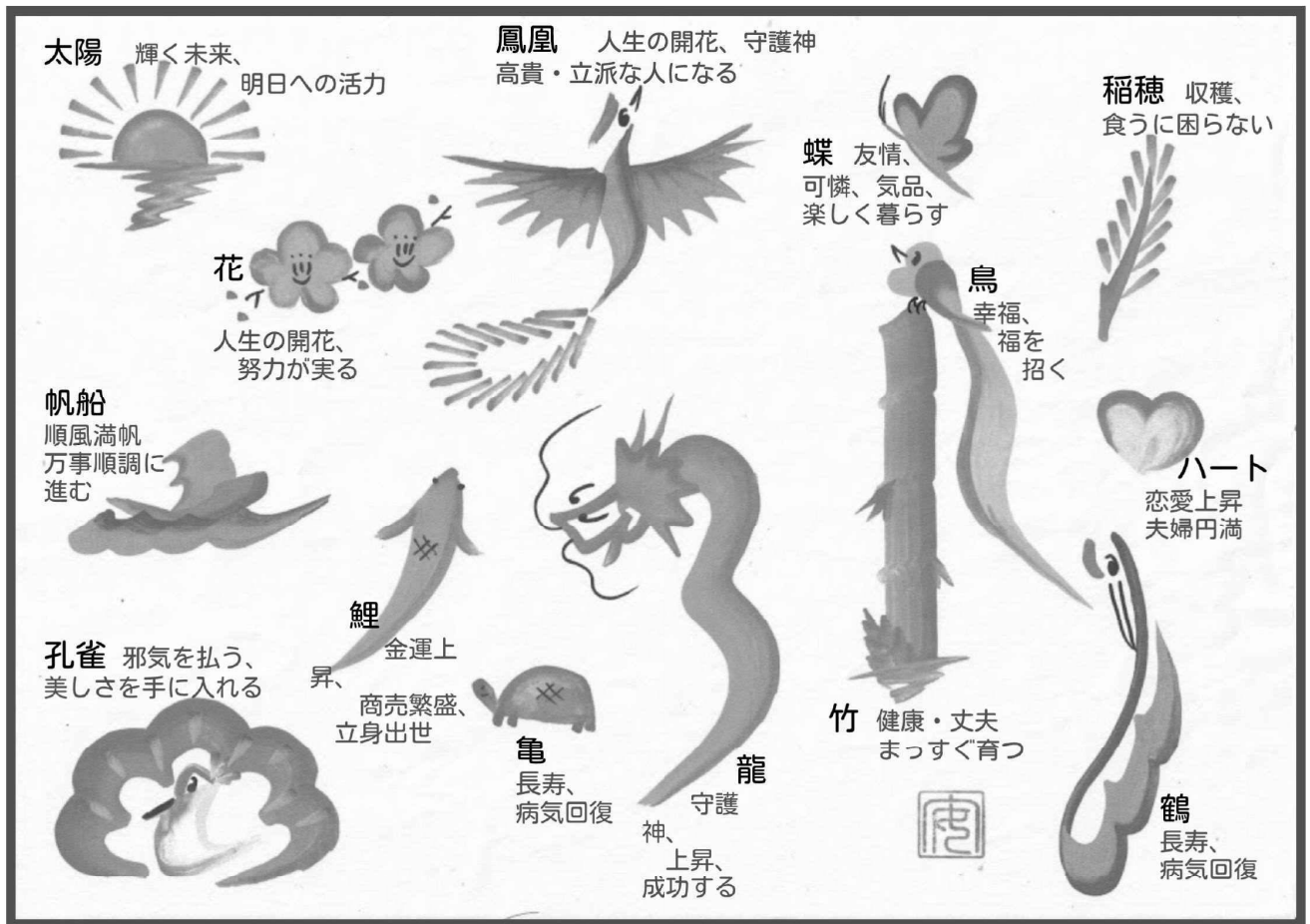


「子ども食堂灯台Instagramより引用」

取材／編集：松本

花文字 誰でも描けるんです

✳花文字の主な絵柄と意味



「虹の花文字作家」 あんいとも子先生に教えていただきました。

✳花文字とは中国発祥の伝統的な装飾文字です。

ひとつひとつ意味のある縁起の良い吉祥絵柄を散りばめ、運気アップの願いを込めて描かれています。

日本では書道と融合し“鶴”や“亀”といった日本特有の絵柄を取り入れるなど、独自の発展を遂げてきました。

専用の花文字筆で美しいグラデーションを駆使して描かれるカラフルな花文字は、見る人の気持ちを明るくし、運気を向上させるパワーも持つと言われています。



インスタグラム等で鮮やかな彩りの作品をご覧ください。



花文字の道具は **3つ** だけ。

道具その1



- ・筆ペン
 - ・スポンジ筆（上段）
 - ・フェルト筆（下段）
- ※日本花文字の会専用。

道具その2



- ・紙（ツルツルのコート紙）
- ※練習用ならカレンダー等の裏紙でもOK
※作品によって色紙や和紙、はがきを使うこともある

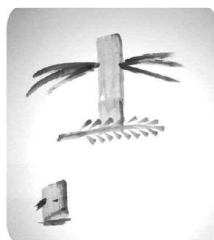
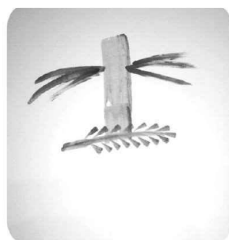
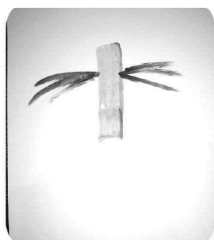
道具その3



- ・絵の具（ポスターカラー）
- ※赤、黄、緑、黄緑、青、水色、紫、桃色の基本8色
- ・スポンジ（絵の具を含ませる）
 - ・スポイト
 - ・ピンセット

ポストカードに **吉** という字を描いてみた。

①竹の節と葉を描き → ②稲穂を添え → ③竹の節を描き → ④鳥の尾で繋ぎ完成！



フェルト筆に黄緑+緑

スポンジ筆に黄色+赤

フェルト筆に黄緑+緑

スポンジ筆に黄色+赤
筆ペンで鳥の目と嘴

こんなに便利

以下の作品はすべて編集担当が自作したものです。
左から、習って半年後、1年後、2年後に描きました。
基本の絵柄を応用してイルカやクローバーにしてみたり、
絵柄の組み合わせを考えたりするのが楽しいですね。

うちわ

年賀状



お祝い色紙

✳花文字の作品は、マルシェやハンドメイド雑貨市、伝統工芸展などに出店されています。実際の作品をカラーでご覧いただけるほか、ワークショップで花文字を描く体験もできます。

「大田区伝統工芸発展の会」<https://ota-crafts.com/>
「日本花文字の会」<http://www.hanamoji.info/>

取材／編集：安藤



8/1～8/2

「早川の大自然でフィールドサイエンスキャンプ」を開催!



フォッサマグナ見学・川遊び・キャンプファイヤーなど普段はなかなか体験できないアクティビティに、子どもたちは夢中になって楽しんでいました。ご参加いただいた皆さま、2日間ありがとうございました。



*この事業は、区内13地区の地区委員会が毎年持ち回りで早川町交流事業として企画。今年は**12年ぶり**に大崎第二地区委員会が主催



早川町は山梨県の最も西に位置し、町の面積96%が森林。平成2年から品川区とふるさと連携協定を結び交流を継続中。



●うれしなカードをご使用ください●

現金併用可能店舗一覧を区ホームページに掲載しています。残高の使い切りにぜひご活用ください。

- 対 象 : 全区民 ※令和8年1月1日において品川区住民基本台帳に記録されている方
- 使 用 期 限: **令和9年1月31日(日)まで** ※期限切れ後の残高の払い戻しや延長はできません。
- 問い合わせ先: しながわ生活応援事業コールセンター 0120-351-190

カード残高確認や利用方法に関するお問い合わせ 0570-077-096



詳しくはこちら↑
(区ホームページ)



しながわ電気・ガス料金緊急支援事業



全世帯対象 1世帯あたり4,000円を還元給付

品川区は、燃料価格高騰への対応と猛暑による健康リスク低減のため「電気・ガス料金の補助」を実施しております。

◆申請受付期間:**10月31日(土)まで** (対象:令和8年6月1日時点で品川区に住民登録のある世帯主)

詳細は広報しながわ8/15号 または 区ホームページ(右の二次元コード)をご確認ください。

◆問い合わせ先:しながわ電気・ガス料金緊急支援事業コールセンター 0120-667-621



地域コミュニティ誌『ふれあい』 2026年 秋号 No.163 2026.9.24発行

事務局:大崎第二地域センター TEL:3492-2000 FAX:3492-2095

「ふれあい」は、大崎第二地区の地域の方(大崎中・芳水小・三木小のPTA)がボランティアで取材・編集している地域コミュニティ誌です。

「ふれあい」は、品川区役所ホームページからご覧いただけます。

⇒<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

品川区 地域ニュース ふれあい

検索

詳しくは
こちら⇒

